



第8回日展安曇野展について説明する財団の関係者

豊科近美で4月23日開幕

日展安曇野展に311点

あす前売り券発売

学校と美術館の間で無料の送迎バスを運行し、生徒に観覧してもらう。

で見られるのは大変貴重な機会」と話している。観覧料は一般1000円(前売り券800円)、大学生6000円

安曇野市の豊科近代美術館で4月23日に開幕する国内最大規模の公募美術展「第8回日展安曇野展」について、主催する安曇野文化財団(長崎大幸理事長)は10日、同館で記者会見を開き、詳細を発表した。会期は5月15日までの23日間で、全国を巡回する基本作品245点と、県内から入選作品66点の計311点が展示される大規模な展覧会となる。本展(東京都・国立新美術館で昨秋開催)

で展示した約3000点の中から選ばれた、日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5部門の作品が巡回する。安曇野市以外では、京都、名古屋、大阪、金沢の各都市を巡る。安曇野展では、市内全中

新第6回日展安曇野展」は新型コロナウイルス感染拡大で中止となったが、市民の期待する声を受け、あらためて開催される運びとなった。長崎理事長は「質、量ともに、飯沼飛行士記念館でも購入できる。(原口香織)

で高校生以下は無料。前売り券は12日からセブンチケットで販売する。近代美術館のほか、安曇野高橋節郎記念美術館、田淵行男記念館、穂高陶芸会館、飯沼飛行士記念館でも購入できる。(原口香織)